

金比羅池 特定外来生物生息調査について（ご報告）

金比羅池にて、特定外来生物が生息している可能性がありましたので、下記のとおり池内の生息調査を実施しました。

<調査概要>

日 時：平成 28 年 9 月 18 日（日）
場 所：池北東側流出口、池南東側親水広場
内 容：電気式漁具、刺網を用いた捕獲



調査の結果、オオクチバス 2 匹、コイ 6 匹、ヘラブナ 14 匹、モツゴ 3 匹、テナガエビ 1 匹、スジエビ多数が生息していることを確認しました。

特定外来生物であるオオクチバスの未成魚が確認できず、刺網を用いても捕獲ができませんでした。また、オオクチバスと一緒に採集されることが多い、特定外来生物のブルーギルも確認できませんでした。

オオクチバスが 2 匹確認できましたが、調査を実施した機関によると、オオクチバスが繁殖している場合、餌として駆逐されるモツゴやスジエビが多数確認されたことから、個体数は多くないと判断できるとのことです。

これに対して、在来種であるコイやヘラブナの個体数が多いという結果になりました。



←オオクチバス

ヘラブナ→



オオクチバスなどの特定外来生物の個体数増加の大きな要因として、外来生物法により禁止されている密放流（他所からの放流）が挙げられます。県営中央公園管理事務所では、今以上に特定外来生物の個体数が増加しないよう、密放流の監視を行っていきます。

公園利用者の皆様におかれましては、当事務所の取組に関し、ご理解ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。